

1

ほめよイエスの御名を

ほめよイエスの御名を栄光溢れる力を
ほめよ王なるイエスを力は流れる御座より

※歌え声高く我が主を拝しあがめよ聖なる主を
ほめよ王なるイエスを十字架の御業をたたえよ

神の御子にますイエス(新聖歌 397 番)

1.神の御子にます イエスのために
罪を敵として 立つはたれぞ

※すべてを捨てて 従いまつらん
わがすべてにます 王なる主イエスよ

2.富の楽しみと 地のくらしいに
目もくれずイエスに つくはたれぞ

3.罪に捕らわれし 魂(たましい)をば
イエスに連れきたる 勇士はたれぞ

4.わが持てるものは 主よ汝がもの
きよきみいくさに 用い給え

注ぎたまえ主よ

1.注ぎたまえ主よ恵みとあわれみを
天が開くため祈る聖霊の力を

※主の御霊よ触れたまえ我が心に主の教会に
雨を降らせリバイバルをきたらせたまえ、この地の
上に

2.受ける価値なき我ら御前に進み祈る
ああ栄光の御業見させたまえ

5 祈りのガイドライン

1. 賛美と感謝の祈り ビリビ4の4~7
2. 悔い改めと主を慕い求める祈り 詩篇51
3. 個人的な願いの祈り ヨハネ15の7
4. とりなしの祈り 1テモテ2の1~4/エペソ4

- ①大和カルバリーチャペルと大川牧師ご夫妻のため
- ②瀬戸カルバリーチャペルと倉知牧師家族のため
- ③クリスチャンが成長し、整えられ、用いられますように
= 教会員が恵まれて、礼拝・祈禱会・奉仕・献金・伝道ができますように
- ④求道者が与えられ、救われますように→受洗者
- ⑤教会近隣の方が集われますように
- ⑥若い献身者が与えられますように
- ⑦ジョイキッズとユースの働きが充実しますように
- ⑧高齢の方々の方フォローが十分になされますように
- ⑨Seto Life Art Studio が用いられますように
= ウクレレ・キッズ英語・ゴスペル・モンテッソーリ教室・音楽ミサなど
- ⑩50人→100人→200人と教会が成長しますように

5. 日本と世界とエルサレムの平和を願って...

- ウクライナとロシアのために。戦争が終わるように。
- 日本の今後・未来のため。教育・経済・国際情勢。

信仰宣言

- 「私の家族は全員救われます」
- 「日本にはリバイバルが始まっています」
- 「私も用いられます」
- 「すべての問題は解決します」
- 「することなすこと、みな成功します」
- 「私のまわりには奇跡が起こります」
- 「すべてのことを感謝します」
- 「イエス様がご一緒ですから」
- 「ハレルヤ主よ感謝します」

瀬戸カルバリーチャペル Seto LIFE ART Studio

489-0909 愛知県瀬戸市みずの坂 5-64 0561-48-8899
牧師：倉知契 kei.kurachi@gmail.com



エマオの途上のイエス様と弟子たち

祈りの小径(こみち)

Number: 153 瀬戸カルバリーチャペル

「祈りの小径(こみち)」の名称は、愛知県瀬戸市・せともの街の名所「窯垣の小径」と、詩人・八木重吉の作品にある「祈りの路」から名付けられました。各ページにある数字の順に、賛美→聖書→黙想→解説→祈りを致します。

2

今日の聖書のことば

ゆっくり読んで黙想しましょう。

ルカによる福音書24章13～26節

13 この日、ふたりの弟子が、エルサレムから七マイルばかり離れたエマオという村へ行きながら、
14 このいっさいの出来事について互に語り合っていた。15 語り合い論じ合っていると、イエスご自身が近づいてきて、彼らと一緒に歩いて行かれた。16 しかし、彼らの目がさえぎられて、イエスを認めることができなかった。17 イエスは彼らに言われた、「歩きながら互に語り合っているその話は、なんのことなのか」。彼らは悲しそうな顔をして立ちどまった。18 そのひとりのクレオパという者が、答えて言った、「あなたはエルサレムに泊まっていながら、あなただけが、この都でこのごろ起ったことをご存じないのですか」。19「それは、どんなことか」と言われると、彼らは言った、「ナザレのイエスのことです。あのかたは、神とすべての民衆との前で、わざにも言葉にも力ある預言者でしたが、
20 祭司長たちや役人たちが、死刑に処するため引き渡し、十字架につけたのです。21 わたしたちは、イスラエルを救うのはこの人であろうと、望みをかけていました。しかもその上に、この事が起ってから、きょうが三日目なのです。22 ところが、わたしたちの仲間である数人の女が、わたしたちを驚かせました。というのは、彼らが朝早く墓に行きますと、
23 イエスのからだが見当たらないので、帰ってきましたが、そのとき御使が現れて、『イエスは生きておられる』と告げたと申すのです。24 それで、わたしたちの仲間が数人、墓に行ってみますと、果して女たちが言ったとおりで、イエスは見当りませんでした」。25 そこでイエスが言われた、「ああ、愚かで心のにぶいため、預言者たちが説いたすべての事を信じられない者たちよ。

3

黙想(Life Art Meditation)の時間

(感じたこと・恵まれたことをノートします)

26 キリストは必ず、これらの苦難を受けて、その栄光に入るはずではなかったのか」。27 こう言って、モーセやすべての預言者からはじめて、聖書全体にわたり、ご自身についてしるしてある事どもを、説きあかされた。

4

みことばの解説

イースター(復活祭)に読むべき聖書のみことばが、4つの福音書のほかにあるとするなら、真っ先に挙げられるのは「コリント人への第一の手紙15章」と言ってよいでしょう。ぜひ全体を完読を願いますが、中でも2箇所をとりあげますなら、まず14節。

『もしキリストがよみがえらなかったとしたら、わたしたちの宣教はむなしく、あなたがたの信仰もまたむなしい。』

パウロ先生は、「復活」なしに宣教はなく、信仰そのものも虚無に等しいというほど、キリストがよみがえられたことは、クリスチャニティ(キリスト教界全体)にとって重要です。それをもう一つの節でこう語ります。1コリント15の20

『しかし事実、キリストは眠っている者の初穂として、死人の中からよみがえったのである。』

つまり、キリストがよみがえられたのは、「初穂」であって、やがて私たちも彼に続いてよみがえる保証(約束)だからなのです。私たちは、十字架の贖いによって罪赦され、その縄目から解放されました。死を恐れずに生きることができるものの、すべての人に死はやってきます。しかし、復活のゆえに、『死は勝利にのまれてしまった(55節)』とあるように、私たちは死を通過しても必ず「キリストと共に復活する」という不滅の約束を得たのです。

それは今を生きる私たちが、罪とその支配、またそれを利用する支配者である悪魔(サタン)に対して勝利していることも意味することが、同じパウロの書簡・ローマ人への手紙8章で力説されています。その背後には、復活の主が私たちのために祈り、聖霊様が私たちのために御心にかなうとりなしをしてくださっている真実が、現在進行中なのです。ハレルヤ

だれが、わたしたちを罪に定めるのか。キリスト・イエスは、死んで、否、よみがえって、神の右に座し、また、わたしたちのためにとりなして下さるのである。

ローマ人への手紙8章34節